

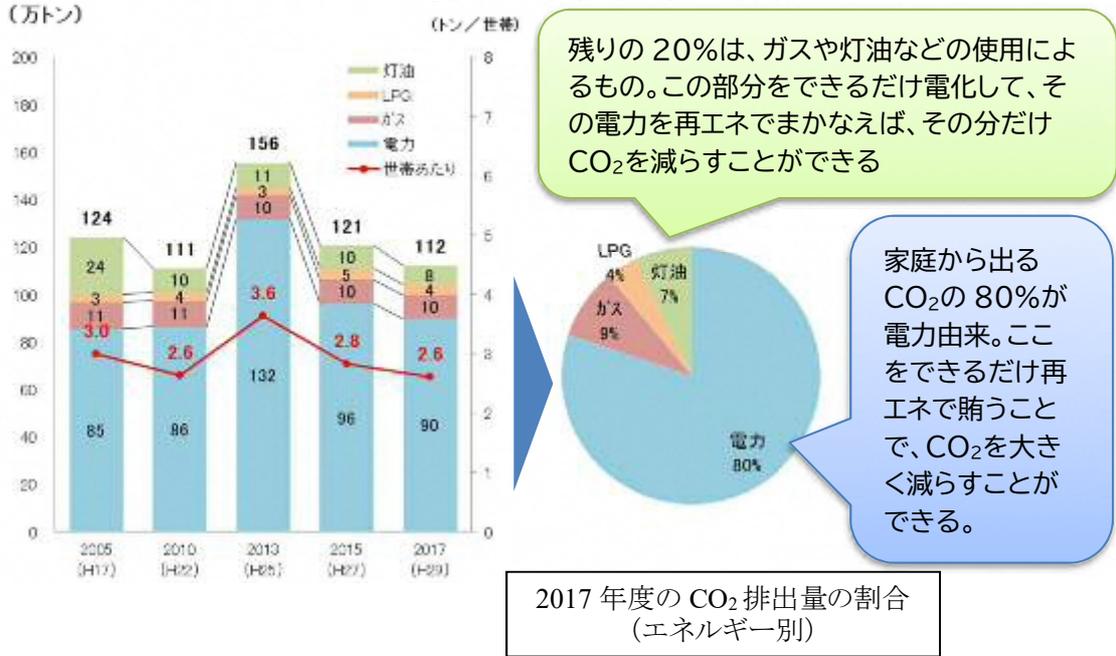


(2) 家庭部門・業務部門

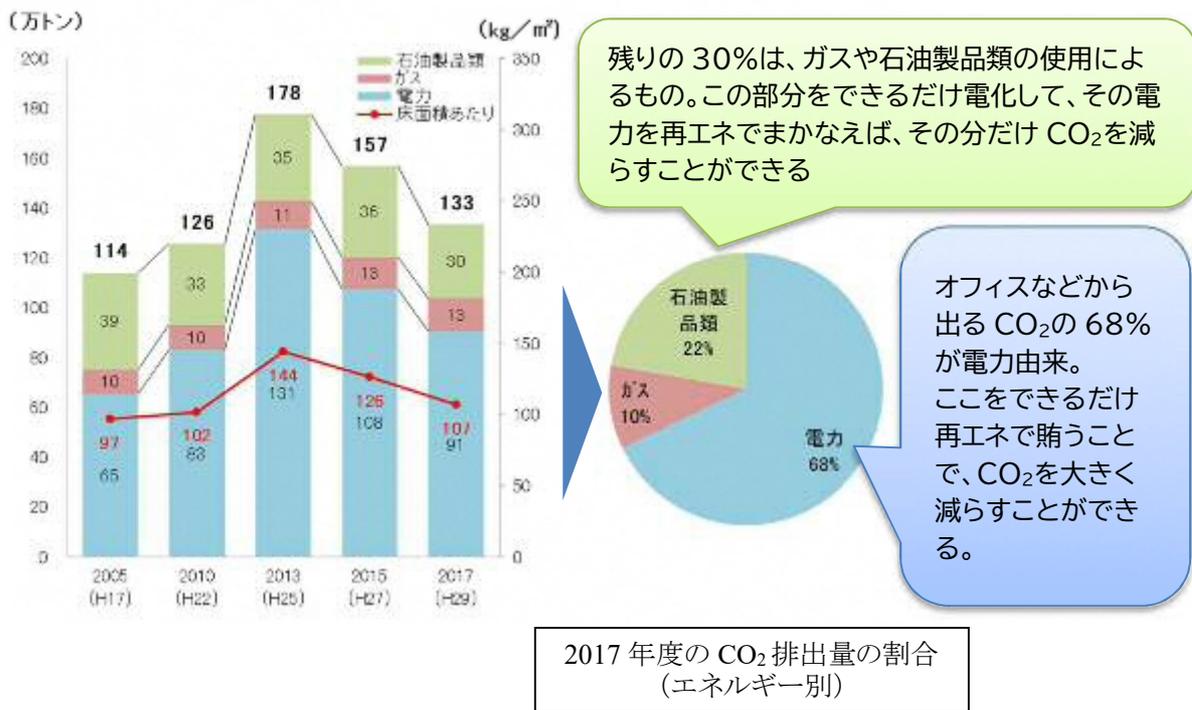
① CO<sub>2</sub> 排出状況

家庭部門・業務部門では、電力の利用による CO<sub>2</sub>の排出が大半を占めることが共通しており、どのようにして電力をまかなうかが特に重要となります。

図表 6-6 CO<sub>2</sub> 排出量の推移(家庭部門)



図表 6-7 CO<sub>2</sub> 排出量の推移(業務部門)





## ② 取組みの方向性

快適で質の高い「脱炭素型ライフスタイル」への移行に向けて、これまでの省エネ対策に留まることなく、エネルギーの自給自足を目指す ZEH(ゼッチ)・ZEB(ゼブ) (詳しくは p65～) を普及させるとともに、「所有」から「利用」による新たな手法により、事業所における全面的な「再エネ 100% 電力」の導入を推進します。

また、経済活動及び市民生活のあらゆる場面において、市民・事業者自らが、高い市民環境力を生かし、脱炭素製品・サービスやテレワーク等の新しいライフスタイルを選択できるよう積極的に情報発信を行います。

### 快適で質の高い「脱炭素型ライフスタイル」

省エネ(LED、高効率給湯)

建築物(ZEH・ZEB)

電化+電源の脱炭素化

デジタル化(テレワークなど)